

札幌ろうあ老人クラブ



4月号

2024

発行者

沼沢 一夫

編集者

中根 伸一

老人クラブ ニュース

会務報告

「三寒四温」の言葉があります。春に向かって少しずつ温くなる様子を表しています。しかし（2月19日前後）の気温はなんと11℃と、真冬に突然春が来たような温かさでした。

このような天候の異変は「地球温暖化」と言います。原因は化石燃料を消費し過ぎて、大気中の二酸化炭素（CO₂）の濃度が上がり続けていることに起因します。私たちがCO₂の増加を抑制するためにできることはささやかですが、家庭から出るゴミを減らすとか、ゴミの選別をしっかりとするしかありませんね。

私たちの老人クラブが、協会の傘下である高齢部に所属するようになってから3年になりました。当然、老人クラブのあり方を相談して、意見を聞きながら活動しなければならない。そのためにはきちんとした老人クラブの基本姿勢を抑えることが大切になります。今まで培った活動に理解していただくことなしでは、うまく行かないと思います。老人クラブの活動には5本の柱があります。その5本柱に合わせて、会員たちと内容を決めます。昭和10年頃、或る地域のろうあ者たちが石炭小屋を修理して、新聞を教材に手話で勉強会をしたという記録が残っています。「学びたい」時はたまり場を作って仲間たちとやって来た・・・その初心を忘れず「いくつになっても学び続けたい」ものです。

4月の行事表

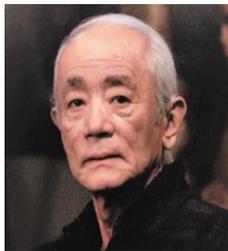
4月 4日	10:00 ラジオ体操と会務報告 11:00 チラシを活用しましょう (役員方はチラシを持参)	情報センター 大会議室
4月 11日	10:00 ラジオ体操・会務報告 10:45~ 室内ゲームを楽しもう	情報センター 大会議室
4月 18日	10:00 ラジオ体操・会務報告 11:00 札幌市社会生活教室 「紙芝居」手話語り 「赤ずきん」 「三年寝太郎」	情報センター 研修室 太田利実氏
4月 25日	10:00 ラジオ体操と会務報告 11:00 「老人寺小屋」 漢字に親しみましょう(2)	情報センター 大会議室 「とも」支援

知識の泉

「カスハラ」ってなあに

「カスハラ」とは、「カスタマーハラスメント」の略語です。つまり、カスタマー（お客）が、会社や店などに対して、ハラスメント（嫌がらせ）をすることを指します。近年問題になっていることですが、お客が大声を出して騒ぐ、仕事の邪魔をするなど、不当な要求をする行為があります。商品を自分で壊しておいて、「商品が壊れていた」と文句を言うこともあります。これらの迷惑行為は、法律や条例で処罰されます。お客は大事ですが、何をしてもよいということではないですね。（T/T記）

札幌市内にある「故滝口政満氏」の

彫刻像・・・
第6弾

今回の作品は、役員の1人が偶然に発見した彫り物です。

彼は晩年に、「鷲やシマフクロウ」の作品を数多く彫り出していました。羽を広げている作品は、札幌では目にすることが出来ませんでした。よくぞ発見してくれたものです。まるで「森の自然を壊すのでないぞ!」と、通せんぼうをしているようで、威厳のある作品でした。



この場所は、札幌市中央区北2条西4丁目1番地（札幌三井JPビルディング）赤レンガテラス2階で店名は「鶴雅 ビュッフェダイニング 札幌」です。

羽を収めて目をギョロっとさせているシマフクロウの彫刻が多い中、このように雄々しく羽ばたいしている姿は珍しい。彫刻家としての彼の集大成を見る思いがしました。（写真提供 J・S）

読者へのお願い

個人で所有している故滝口政満氏制作の「ブローチ」や小作品がお手元にありましたらご一報ください。

掲載には匿名、写真と購入日だけです。よろしくお願ひします。（N・S記）

※市内に現存している滝口氏の作品の在り処は「ニトリホールディングス社」の社長室や札幌大学学長室など取材に手数のかかる場所なので、腰が引けます。事前に取材の承諾と手話通訳者帯同の用意が必要なのかも知れない。取材には苦勞が伴いますよね。

今回の「老人寺子屋」は、「とも」の会員たちが事前に拾い集めた、一度は聞いてみないとわからない珍しい地名を示しながら、どんな読み方をするか？フロアの人たちに問いました。行ったことのない町や手話のない町名に戸惑った人が多かったが、楽しい学習でした。ここで出された地名を改めて一緒に学びましょう。

椴法華	忍路	輪厚	濃昼
占冠	花畔	興部	雁来
長万部	俱知安	長都	七飯

出された漢字は見たことがあるが、どう読むかわからなかった人が多かった。又は「擬音」が付くかもわからず答えを書いた人もいました。回答はどこかにあります。

三者懇談会の経過報告（2/18）

通算4回目の懇談会。参加したのは協会高齢部、老人クラブ、「とも」の各役員たちでした。今回は協会福祉・労働部長と副部長が参加して下さり、各委員の自己紹介から始まりました。

それぞれの団体の活動内容を説明、福祉部としての実際の活動についても、改めて説明をいただきました。

「福祉・労働部」のこれまでの方針は、ほほえみ各施設の運営を指導するのみで、前任者から、会員の動向や困りごと、問題があってもタッチしなかったという。この会議で「とも」や「老人クラブ」に対する指導、支援の必要性を考えられたという担当者の意見がありました。例えば、三者で共通する「孤独死」問題や、ほほえみ各施設との連携、共通した課題に取り組むことなどを話し合いました。今後、全ろうあ高齢者に関する問題を出し合いながら進めるようになると期待します。

とどほっけ	おしよろ	わっつ	ごきびる
しむかつぶ	ばんなくろ	おこっぺ	かりき
おしやまんべ	くっちゃん	おさつ	ななえ

協会高齢部役員会の報告 2/21 (水)

この会議には、役員が7名いますが、老人クラブ役員を兼ねる人が5人も占めています。老人クラブの役員会と見まがうので、切り替えるのに大変でした。主に決めたことは以下の通りです。

- 1) 協会高齢部代議員総会の日程は
3月20日(祭日)1時から、情報センター大会議室で開くように準備を行なう。
- 2) 高齢部創立35周年記念事業は、中止する。
- 3) パークゴルフ大会は、高齢部単独事業で行う。
(但し、高齢者が多いので、18ホールで競い合います)
- 4) 三者懇談会は、今後、協会の福祉・労働部主催で年間2回程度、開くように話し合う。
- 5) 総会の招集の通知と代議員の確認
以上、話し合いました。会員の中に区支部の高齢部役員で総会代議員を兼ねる方がおられると思いますが、必ず参加して、意見を述べてくださいね。

二酸化炭素について、新聞、インターネット、テレビ放送(字幕付き)がありますが、なかなか理解できていない人たちのために下記の文はインターネットより説明とイラストがあったので参照します。二酸化炭素は惑星の大気中に、自然に存在する物質です。

濃度は星によって異なり、地球の大気には0.04%の濃度で含まれています。

地球の大気を構成する物質の中で、最も多いのは窒素です。約78%を占めており、次に約21%の酸素が続きます。

なお地球の隣の惑星、金星や火星では大気のほとんどが二酸化炭素です。

地球もかつては二酸化炭素の濃度が高かったものの、海に吸収されたり、植物が光合成に使ったりして、徐々に減少していったと考えられています。

今度、OC2について勉強会を開きたいですね。

(資料提供 畠山 啓子さん)

OC2 → 二酸化炭素の基礎知識

